

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.104 2003. 5

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

横浜G30行動宣言－350万人の挑戦



●教えて聞かせて P3

●リサイクルデザイナー P6

●今年もやります！
リサイクルデザインフォーラム
・古紙の価格について ★ P7

●サポーター'sミーティングのお知らせ・環境絵日記 P8

知ってる？ 『横浜G30行動宣言 350万人の挑戦』

私たちにできることは何だろう

廃棄物の増加による環境汚染を抑え、子どもたちに豊かな街・横浜を残すために改定された一般廃棄物処理基本計画、これを『横浜G30プラン』と呼びます。年明け早々の1月8日に発表されましたが、まだ何のことだかさっぱり…、という人も多いようです。市民と業者と行政の協力なくしてはありえないこのプラン。挑戦する350万人とは、他の誰でもない私たちなのです。

G30とはなんぞや

市内では現在、6つのごみ焼却工場が稼働していますが、人口の増加に伴いごみの量も年々増える一方。このまま対策を講じなければ、近いうちに焼却工場の改修や最終処分場の整備が必要とされ、ばく大なコスト（私たちの血税）がかかることとなります。特に最終処分場は、平成19年度にはパンクしてしまうと予想されるほど、事態は深刻です。また、廃棄物を燃やし続けることによる環境汚染（ダイオキシン問題、地球温暖化など）への対策も急がれます。こういった現状を打開するために、市は中期政策として『横浜G30プラン』を掲げたのです。その具体的な目標は、平成22年度における全市のごみ排出量を平成13年度に対して30%削減する、というもの。目標達成に向け、市民レベルでも毎日の行動やライフスタイルの見直しを図らなければならないでし

よう。ちょっとたいへんかもしれないけれど、プラン遂行のために私たちも行動するぞ！ と意気込むのが『横浜G30行動宣言』、そう考えることがで

きそうです。意気込みだけで終わらないように、ごみ排出量を減らしリサイクルを推進するための具体的な行動指針を探っていきましょう。

ごみを減らそうといっても

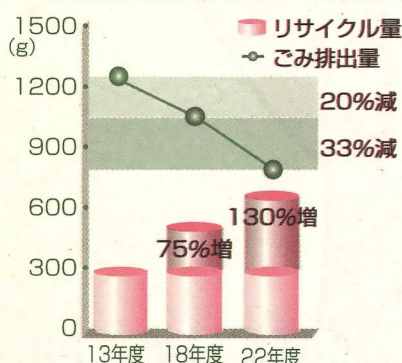
毎日の暮らしの中で、ごみ箱にものを捨てるのはごく自然な行為。ごみ箱を前にして、いちいち「これを捨てるべきか、捨てざるべきか」と悩む人はまれでしょう。考えなしにしてしまう行為だからこそ、今ここであらためて自分の普段の「捨てる」行為を見直してみませんか。

本誌を毎月欠かさず読んでくれている読者の場合、日ごろのリサイクル意識はかなり高いことが想像されます。

お菓子やティッシュの箱も、取り出し口のビニールをはがして資源回収に出しているでしょう。けれど、テーブルが少し汚れたといったらティッシュやキッチンペーパーをむやみに使っていないですか。我が家の場合、室内で犬を飼っているので抜け毛の始末がたいへん。つい便利な粘着テープ・コ×コ×カーペットを多用してしまいがちですが、そのごみがかさんでしまうので何か良い手はないかと思案中です。

我が身、我が家の反省はその気さえあればできるものの、周囲の人たちにその思いを伝えるのはなかなか厄介だったりします。親しい友人にも、言葉でストレートに「あなたのやり方はごみ減量に逆らっているわよ」と言うのは勇気がいります。でも、自分の行動はいつかきっと誰かに、少しずつでも影響を与えられる、そう信じてみることにしませんか。地道な努力こそ最も大切なのではないのでしょうか。

市民1人1日あたりの目標



ちなみに、アルミ缶は1本17g、牛乳パック1枚は30g、2リットル入りペットボトルは60g、新聞紙朝・夕刊1日330g、折り込み広告1日分は500g前後（週末など多いとき）、750ml入りガラスびんは550g（数字はすべて概算）です。これまでごみとして出していた資源となるものは、あなたの場合1日何グラムほどでしょうか。リサイクル量を平成22年度までに1日400g近く増やすために、あなたは何をどれだけ加えたいのでしょうか。

リサイクル量を上げるには

リサイクルの対象となる資源となるものの回収は、現在のところ5分別7品目ですが、今年10月から10分別15品目に拡大されます（図を参照）。これまで焼却処分されることの多かった食品トレーなど「その他プラスチック」や「古紙」が加わり、政令指定都市ではトップクラスの細かな分別になります。

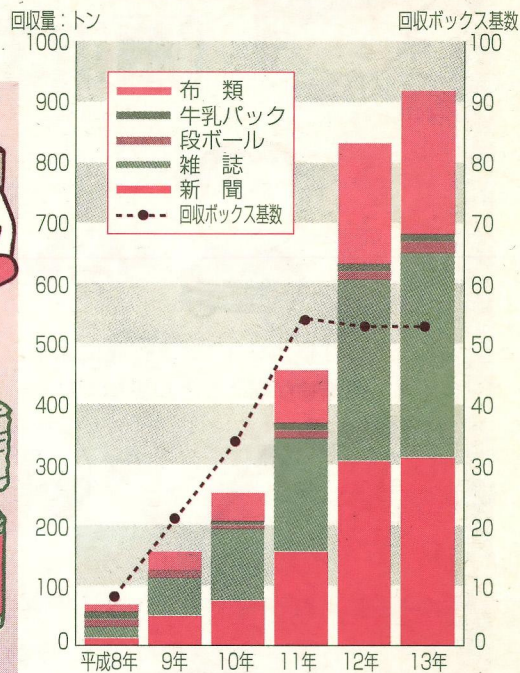
まずは1区あたり約2200世帯、つまり市内で約4万世帯を対象に取りかかり、平成18年度までに全市に広げる計画です。併せて、牛乳パックや古布などの回収ボックスを10月までに現行の5区53カ所から全市100カ所に増設し、そこでは新たにリターナブルびんも回収する方針。しかし、モデル地区以外では当面、現状維持ということなので、7品目以外は子ども会や学校のPTA、生協やスーパーを拠点とした資源回収になります。

本誌・前回の102号で取り上げた「古紙の種類と出し方」を守り、正しい分別を心がけて下さい。古紙のみならず、



分別がきちんとできていなかったためにリサイクルされず焼却処分されているカンやびん、ペットボトル、紙類、衣類などが、現状ではまだかなりあるということです。

品目別回収量の推移



平成11年度以降回収ボックスの増設はありませんが、回収量は延び続けています。リサイクル意識、広くは環境問題に対する市民の関心度の高まりが読み取れます。回収ボックスは今までの5区53カ所に加え、残りの13区に47カ所設置され、合計全区で100カ所になります。

3Rでなく、これからは5R!

本誌では、これまで再三にわたり3Rを強調してきました。リデュース（利用削減）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）がそれです。しかし最近ではこれにもう2つのR、リペア（修理）とリフューズ（やめること）を加えた5Rが提言されています。リサイクルやリユースの落とし穴は、それに一生懸命になっているとついそれだけで満足してしまい、大局を見失ってしまいがちなこと。大局とは、本来最も重要なのはごみ（いらないもの、使わないもの）を減らそうという原点です。カンをリサイクルしやすくするために空きカンつぶし機を買ったけれど、足で踏むほうが簡単で結局ごみにしてしまった、などという失敗のないように、ものを買う時やもらう時はよく考えることが大切です。

家電品など、修理したくてもメーカーから断られてしまうケースがあり残念ですが、自分で修理できるものならぜひ挑戦してみましょう。皮や布張り

の椅子は思いのほか簡単にDIYで張り替えられるし、家中を見渡せば、自分でできる簡単な修理の対象はけっこうあるものです。今あるものを長く大切に

使い、ムダになりそうなものを衝動買いしない、これも、りっぱなG30行動宣言にのっとった行為です。

横浜市の英断を支えるのは私たち市民

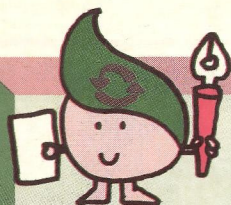
市が発行したG30関連の資料には、次のようなくだりがあります。

『350万横浜市民が、ごみの削減とリサイクルに全力をあげて取り組み、横浜から日本へ、そして地球に広がる環境行動都市の創造に向けた第一歩を踏み出します。それは、次の世代に責任を持つ350万横浜市民の勇気ある挑戦です』

少し面はゆいような気さえしますが、なんとなく、やる気をそそられません。子々孫々まで、できるだけ良い環境を残すことは人類共通の願いなのだから。グローバルな夢を語ったあとでナンですが、先日訪ねた市内のある小学校でのひとこ

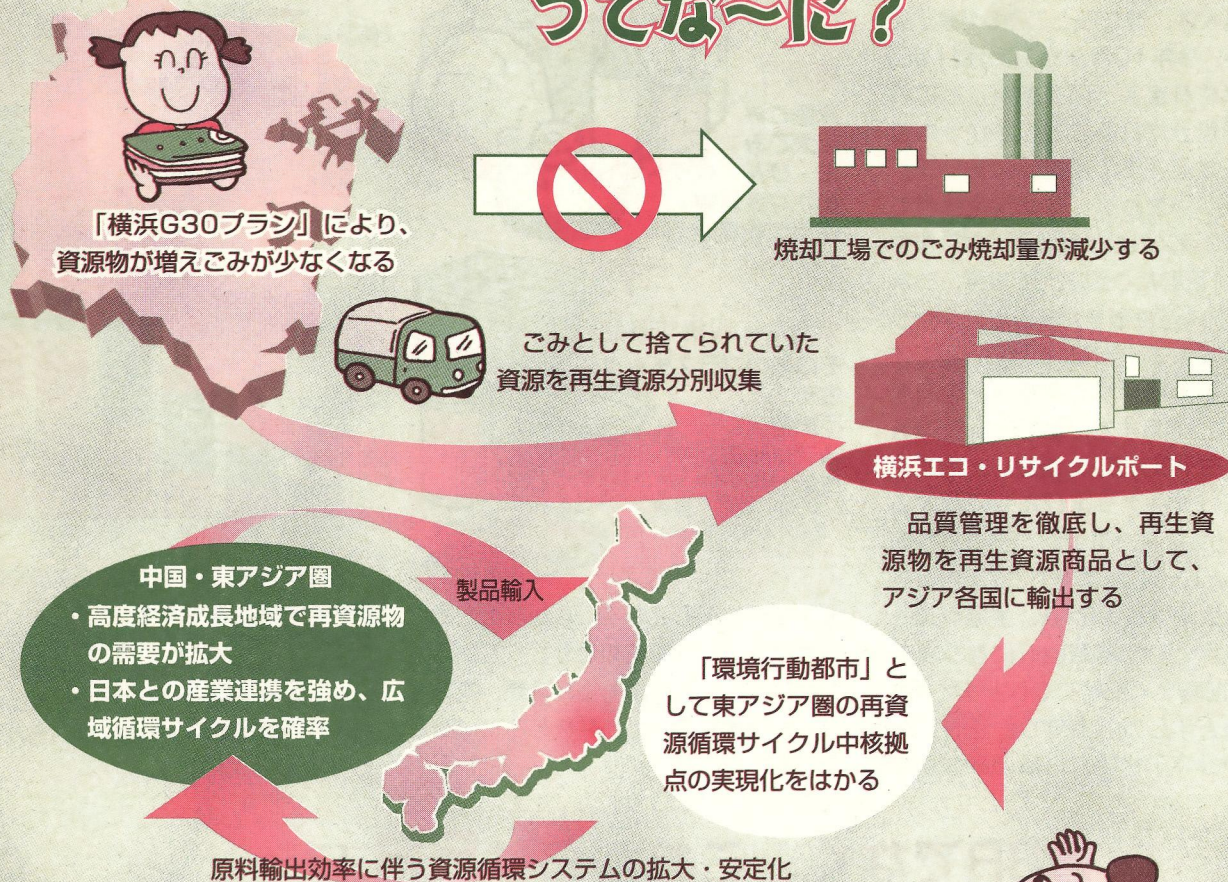
ま。「みんなのおうちでも、お菓子の箱とか牛乳パック、リサイクルしているかな。カンやびんは分けて出しているよね。トイレトペーパーは再生紙のものかどうか、知ってる？ 雑誌はPTAの古紙回収日に出しているかな」——。3年生の児童を前にそんな質問を投げかけたところ、大多数が「知らなーい。だって、お母さんの仕事だもん」との反応でした。恐らく、多くの家庭で様々な実践があるはず。それを、今度は子どもたちと一緒にやってみてはどうでしょうか。子どもたちは、いつまでも子どもではなく、明日を担う小さな大人なのですから。





教えて、聞かせて

「横浜エコ・リサイクルポート構想」 ってな〜に？



「国際静脈物流」という ことばを知っていますか？

モノが作られてから私たちの手元に届くまでの流れを、体の中を流れる血液にたとえて、動脈物流と呼ぶのに対して、リサイクルされるモノの流れを静脈物流と呼んでいます。ご存じのとおり最近では野菜・衣服・電化製品などの多くのモノが外国で作られ日本に輸入されています。モノの流れが国際的になったことで、国を超えてリサイクルされる資源（古紙や古布など）の流れを「国際静脈物流」と呼ぶようになりました。

今年3月に発表された国土交通省の「静脈物流システム事業化検討調査委員会」の提言の中で、「日本国内でのリサイクルに限界がきて資源が余ってしまい、今後さらにあふれることが予想される。一方、アジア諸国ではリサイクル資源

が足りない。」とされています。「横浜エコ・リサイクルポート構想」は、横浜の港からリサイクル資源をアジア諸国に届けるためのポイントを作り、国内に安定したリサイクルの流れを作る構想です。具体的には横浜港南本牧ふ頭の集積所に、回収された古紙、古布、鉄くずなどを集めて、ごみではなく品物として品質を管理し、ここからアジア各国に輸出するという計画です。

(図参照)

「横浜G30プラン」 推進に民間からの提案

この構想は、横浜市の「横浜G30プラン」（P4.よこはま白書参照）に基づいて増えると予想される再生資源物を、市民に見える形でリサイクルしていく



ことを目的とした、「横浜G30プラン」を支援する民間からの提案です。中野理事長は「ごみの輸出ではないことを市民に理解してもらいたい。再生資源の輸出はアジア経済の急成長の中で必然性のあるもので、社会的、国際的な役割を果たしていくものとなる。回収品の品質管理をしっかりし、横浜のものなら安心という『横浜ブランド』を確立したい。」と話しています。

2008年から2010年に実施予定ですが、今年5月から古紙と古布の輸出を試行が始まります。

ごみ減量とリサイクルを進め、 「環境行動都市」横浜を 築いていこう！

～「横浜G30プラン」による平成15年度の主な取り組み～

横浜市が掲げた「横浜G30プラン」によるごみ削減目標は、「平成22年度までにごみ排出量を対13年度の30%削減」というものです。具体的に取り組みを開始する15年度は、市民・事業者の皆さんがごみ減量・リサイクルに参加・協力できる仕組みを作っていきます。

G30行動（ごみの減量・リサイクル）の推進

G30行動推進体制の確立

新たに市・各区・各地域にG30行動の推進組織を設け、G30行動の普及啓発や分別排出の徹底などを推進します。「市G30推進本部」では市長を本部長とし、全局区長・事業本部長がメンバーとなります。「区G30推進本部」では区長を本部長とし、市民・事業者・行政からなるメンバーが各区の行動計画づくりや区役所等のごみゼロを推進します。

そして、区民が主体となった地域ぐるみのG30行動を展開するため、地区連合会や地域防災拠点等、区の特性に応じて設定するエリアごとに「地域G30活動委員会」を結成し、分別排出の徹底を進めます。

また現在約3,000人いる環境事業推進委員を5,000人に拡充するほか、分別排出徹底の普及啓発を行うためのG30サポーターとして、ボランティアを2,000人募集します。

市G30推進本部

・事業計画の策定 ・進行管理 ・庁内ごみゼロ推進 等

区G30推進本部

・行動計画の策定 ・G30行動推進
・区役所ごみゼロ推進 等

G30サポーター

G30行動の推進に意欲のある市民ボランティアを募集、登録

地域G30活動委員会

住民組織・環境事業推進委員等で構成

・分別排出徹底の普及啓発及び指導
・G30行動の普及啓発 等

市民一人ひとりにG30行動を呼びかける

横浜市民一人ひとりにG30行動を実践していただくため、いままでの広報に加えてより一層徹底した広報事業を展開します。

- 印刷物による広報…広報よこはま市版特集号の発行（通年で広報よこはまに掲載）・PRポスターの掲示・新聞広告
- 映像による広報…G30行動推進ビデオの作成配布・環境事業局HPでの広報ビデオ映像配信
- 募集事業による広報…G30キャンペーンソングの募集・G30行動大賞の創設（リサイクルアイデア等の募集、表彰）
- その他…
 - G30行動推進タウンミーティングの開催（G30行動実践事例報告、施策提案発表等を各区で実施）
 - ラッピングバス・収集車の運行

「G30」とは？

「G30」は「ジー・サンジュウ」と読みます。

「G」とは、「ごみ（Gomi）」という言葉をローマ字した場合の「G」、「ごみ」を意味する英語「Garbage」の「G」、ごみを減量していくという「減量（Genryou）」の「G」、そして、次世代に良質な地球環境を引き継いでいくという意味での「Good」「Global Environment」の「G」などの思いを込めて、「G」と表記しています。

「30」とは、平成22年度におけるごみ排出量の削減目標である30%の「30」を表します。また、「G30」で「ゴミゼロ」の意を込めています。

ごみ減量とリサイクルを進め、 「環境行動都市」横浜を 築いていこう！

ごみを出さない、ごみの発生を元から絶つなど 「ごみ発生抑制」を実行しましょう

横浜市が策定した「横浜G30プラン」では、平成22年度までに全市のごみの排出量を平成13年度より30%削減するという目標をかかげています。この目標達成には行政だけでなく市民や事業者の皆さんの協力がぜひとも必要です。

「ごみ発生抑制」行動とは、結果的にごみとなるものをはじめから断わったり、ものを大切に長く使うなど、ごみの発生の元となることを絶つことです。この行動は環境負荷をかけないことにもなり、誰にでもすぐに実行できる、ごみ減量にたいへん効

果的な行動です。

下記の具体例を参考にいただき、ぜひ市民・事業者のみなさんの行動をお願いします。

すすんで断わりましょう！



お買い物の時は、袋を持って行ってムダなレジ袋・紙袋や包装を積極的に断わりましょう！

お出かけやお勤めのおきも「カバンの中に袋を一つ」と心がけたいですね。

割り箸、使い捨てスプーン・フォーク・皿などを使わないようにして、環境にやさしい生活スタイルが定着するといいですね。



ムダをやめましょう！

食事の作りすぎ、食べ残しをなくすことで、生ごみを減らすことができます。

冷蔵庫の食材を上手に使いましょう。



ものを大切に使いましょう！

「もったいない！」を市民の合い言葉に！

鉛筆1本、ノート1冊から、ものは最後まで使い切りましょう。壊れたものも修理して使いましょう。



●リサイクル掲示板●

センターリサイクル

●5月4日(日)

・泉区センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所
TEL 803-5191

●5月10日(土)

・センターリサイクルinせや

瀬谷区 ニツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
TEL 364-0561

●5月11日(日)

・かながわセンターリサイクル

神奈川区 反町公園

(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレー、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ
TEL 413-3196

●5月18日(日)

・旭区センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所
TEL 953-4811

今回は5月の組合総会において11期目からの新理事長に就任される秋元さんに、
これからのリサイクルや組合運営の抱負・展望について伺いました。

今までの継承とともに、 新理事會に新しい発想を 取り入れる

やりたいことが二つあります。まず、組合立ち上げ当初から副理事長を勤めていたので、前理事長の中野さんが進めて来たことを継承していくのはもちろんですが、今回20名の新理事によって理事会が若返ったのを機に新しい発想を取り入れたいと考えています。

そのために株式会社なみの議事のスピードアップを図りたいのです。協同組合では集まる機会が少ないので、どうしても議事が滞りがちです。各部会・委員会でも十分に煮詰めた内容のものを提出してもらい、それに対してすばやい対応で理事会が承認するというのが理想です。今でも少しずつそういう形にはなってきましたが、さらに協同組合であって株式会社なみの対応ができるというのが重要で、業務のスピードアップは今日の社会情勢の中で必須なことでしょう。

事務局も前理事長のときにだいぶ鍛えられていますから、その点に付いては順調に進められると思っています。



秋元金属株式会社
秋元 康男さん

1953年（昭和28年）2月25日生まれ。昭和38年に神奈川県羽沢町で父がアルミを主とした非鉄金属のリサイクル業を創業し、27歳のときにそれまで勤めていた東急ストアをやめ2代目を継ぐ。現在は旭区に1400坪の敷地を容する「横浜リサイクルセンター」を経営している。

母、妻、娘、息子の5人家族。趣味はスポーツ全般で「やるのも見るのも大好き」というスポーツマン。休日はゴルフを楽しむ。

組合員一丸となって さらに汗をかきましょう！

もうひとつは、今までのような一社に依存する経営ではなく、組合単独、独自の事業を推し進めて経営を多角化してい

きたいと考えています。具体的には、山内（神奈川区）にできるリサイクルポートの運営などを充実させ、リサイクルポートを拠点にG30プランをはじめ様々な事業を請け負えればいいなと思っています。また、再生紙を利用した製品の充実、出前講師の派遣、リサイクルデザインサポーターの拡大、リサイクルデザイン（本誌）の普及を通じて一般の人たちにもっとリサイクルについて知ってもらい、一緒に環境について考えていきたいですね。それらすべてが環境に優しいことですので、組合でISO 14001を取得することも視野に入れています。

今までの10年は基礎作りでしたが、これからは激動と飛躍の10年になると予想しています。ここまで築き上げてきた予想以上の組合員の意識の向上をもとに、さらに上を目指していきたいです。組合員の皆さんには『全員一丸となって汗をかくていきましょう』と言いたいですね。良い企画が出て、それぞれができることを精一杯やれば、大企業に負けない組織になることを確信しています。そこが協同組合の良い所です。そして私も引き上げたからには一所懸命に頑張りたいと思います。

びっくり その1

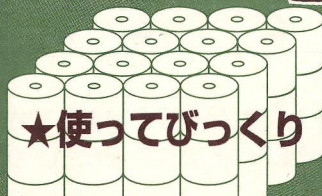
リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレットペーパーだと大丈夫なの」（実話です）。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレットペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくなるんだね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

注文受付は1ケース（48コ入=6コ入りパック×8）より
1ケース 3,360円（配送料込み）

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

シングル芯なし130メートル11パック（6ロール）あたり価格420円

募集

今年もやいます！ リサイクルデザインフォーラム

メインテーマ つくろう、わたしたちのリサイクル都市YOKOHAMA

サブテーマ わたしたちのG30行動宣言

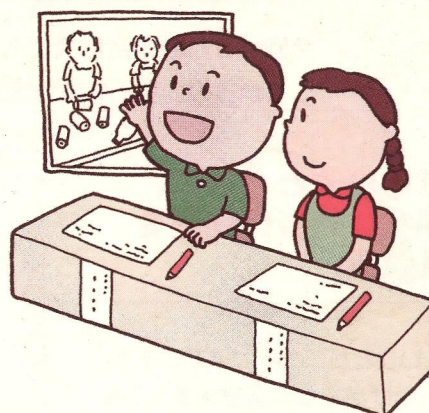
子どもたちの考える現在、未来のリサイクルとはどのようなものなのか、子どもたちが描いた「環境絵日記」を通して、私たち大人が知る機会を持ちたいという思いから始まった「環境絵日記」も今年で4回目を迎えます。

昨年は皆様のおかげで日韓合同開催ができました。今年のフォーラムは子どもたちが「環境絵日記」を通して、これからの「環境行動都市」「リサイクル都市」横浜をどのようにとらえているかを知り、私たちのG30行動宣言へと結びつけていけたら…と考えています。

- 環境絵日記も募集します
テーマ “わたしたちのG30行動宣言”
“我が家のG30自慢”
今年も夏休みの課題として取り組んでみませんか？

それぞれのお問い合わせ・お申し込みは・・・

〒220-0005 横浜市西区南幸2-16-22 金属ビル3階
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話045-316-4050 F A X 045-316-6050
Mail@recycledesign.or.jp



環境絵日記市民審査委員募集

小学生が描いた環境絵日記の審査員を今年も募集します。一次審査に参加してみませんか？（20名程度を募集予定）

お父さん、お母さん、先生、リサイクル・環境に興味をお持ちの方、子どもたちの描いた作品を一定早く見てみたい方などなどなたでも構いません。

お申し込みはリサイクル組合事務局まで。参加して頂いた方には記念品と交通費（一律になります）をお持ち帰りいただきます。

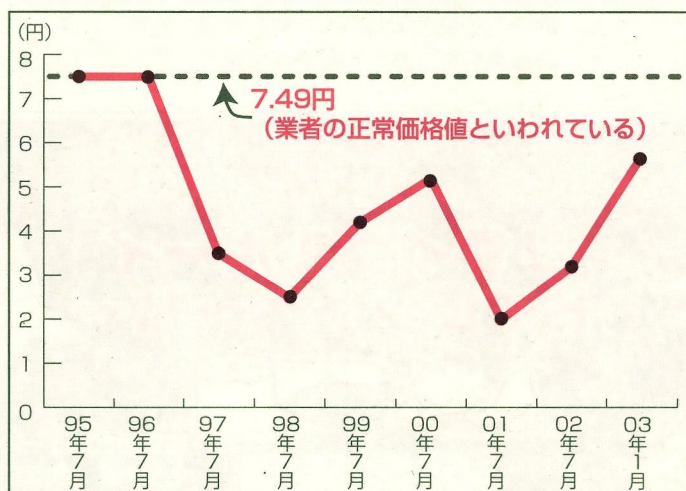
古紙価格の値上がりは「高騰」ではなく「価格の回復」

本紙の裏表紙に毎月必ず「リサイクル標準価格表」が掲載されています。皆さんは気にしてご覧になっていますか。ここをずっと継続的に見ていると古紙等の価格の動きがとても良く分かります。

最近一部のマスコミ報道で古紙価格の変動が取り上げられ、古紙の値上がりがあたかも再生古紙使用のトイレットペーパーの価格の動きの要因である、というような表現がされています。

掲載のグラフは、1995年～2003年1月までの古新聞紙の業者の売り値（1Kg）の移り変わりです。これを見ると現在古紙価格が上向いているのは、

古紙価格の変動（古新聞紙業者売値1kgあたりの場合）



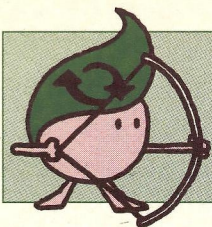
下がり過ぎた価格がやっと回復してきている途中なのということがわかります。

ここ数年、古紙リサイクルに関わる

業者は、度重なる値下げの実施に苦しい時期を過ごしてきました。古紙は末端での回収、集荷に始まり、選別、梱包の一連の作業を経て「リサイクル商品」になります。この作業をとまなうコストの積みあげの上での価格を適正価格とするなら、今回の価格の回復はやっと「正常価格」に戻りつつあるところだということが分かります。

循環型社会の構築の重要な一端を担う古紙流通業界が、

安定した適正価格で運用されるよう、これからも月刊リサイクルデザインの「リサイクル標準価格表」を注目してください。



リサイクルデザイン サポーター'S ミーティングのお知らせ

月刊リサイクルデザインもおかげさまで100号を迎えることができました。

リサイクルデザインサポーターの登録数は225人になりました。

今回100号の記念イベントを兼ね、サポーターの皆さんの
なまの声をお聞きするフォーラムを企画しました。

今月号の特集「横浜G30行動宣言」について
市民の皆さんと話し合いができれば、と考えています。

どうぞサポーター'Sミーティングにご参加ください。

日時：6月22日(日) 午後2時～3時30分(予定)

会場：フォーラムよこはま

(西区みなとみらい2-2-1-1 ランドマークタワー13階)
桜木町駅(JR・東急東横線・横浜市営地下鉄)下車

定員：50名(先着順)

申込方法：ハガキに「サポーター'Sミーティングに参加希望」・
氏名・住所・電話番号を明記してください

招待状の発送をもって受付発表に代えさせていただきます。

*4月25日時点でサポーター登録されている方は別途参加募集の
ご案内を差し上げます。

締め切り：5月25日(土)

申し込み先：〒220-0005 横浜市西区南幸2-16-22 金属ビル3F
横浜市資源リサイクル事業協同組合
リサイクルデザインサポーター'Sミーティング係

「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

リサイクル組合の組合員が、学校でリサイクルの話をする「出前講師」になったきっかけは、ある生徒さんがリサイクルデザインに載った、ある組合員の記事を読んで、「この人の話が聞きたい」と先生に希望したことから始まっています。

リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050

2002～03年 出前講師派遣状況

日時	学校名	対象
5/29	南区六ツ川小学校	4年生
6/13	緑区長津田小学校	4年生
9/26	旭区上白根小学校	4年生
11/13	戸塚区戸塚中学校	全校生徒
11/25	緑区緑園西小学校	5年生
12/4	南区共進中学校	全校生徒
2/14	瀬谷区相沢小学校	6年生
2/17	神奈川区白幡小学校	4年生
2/18	港南区小坪小学校	5年生
3/11	港南区野庭小学校	4・5年生
3/20	都筑区荏田東第一小学校	3年生
3/20	磯子区山王台小学校	5年生

環境絵日記

2002年第8回リサイクルデザインフォーラムの
環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。

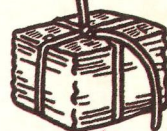


はら小学校3年 きし あやか
8月31日 土曜日 天気 はれ
この地球の中で、人間が自分の
べんりになることだけを考えてい
るから、地球がどんどんよごれて
いくのだと思います。
わたしたちは、花や虫や動物、
そのほかいろいろな物たちとすん
でいるので、人間だけが自分かっ
てなことをして、地球をかえては
いけないと思います。
みんなの地球、みらいの地球を
よくするために、どうすればいい
のかを、一人一人が考えていけば、
地球は少しずつよくなって、すく
われると思います。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん



で
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1～6巻400円 7巻～ 600円
箱売り (1箱50巻)	1～9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱～	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

山結くん販売場所／横浜市金沢区・緑区・中区・都筑区
の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふ
れあい戸塚店(戸塚区ダイエー横)・大船店(鎌倉市小袋谷) ●
コミュニティストアすずきや(戸塚区) ●エコロジーショップエ
ッセンズ(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴
見区生麦4-10-17)

販売してくださるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年3月現在
日経3/27

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	5~6.5円
雑誌	** 0円	2~2.5円
段ボール	** 0~4円	3円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

編集室から

木々の緑も鮮やかになってきましたね。もうすぐゴールデンウィーク。天気の良い日にキャンプやバーベキューを企画している方もいるのではないのでしょうか・・・？私は桜の散った後お花見ならぬお葉見を計画。ただの宴会という噂もありますが・・・？美味しいものを沢山食べ、飲んだあととはごみの分別リサイクル出来るものはリサイクルして、楽しいひと時を過ごしたいですね。あつ、それから4月から編集室の編集長が新しく変わりました。これからもっともっと、リサイクルデザインを楽しい誌面にしていきたいと考えています。皆様からリクエストがありましたらどしどし編集長までお寄せ下さい。

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのビデオテープ 「未来を生み出すリサイクル」



このビデオは、暮らしの中から出る資源物（古紙・空き缶等）がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入のお問い合わせは下記まで。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050

FAX 045-316-6050

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）・大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原）●エコロジーショップエッセンス（中区麦田町）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まさか原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●自然彩食（名古屋）●まじょらむ（港北区綱島）●オーガニックスペースかれん（港北区大倉山）●カフェ杜（港北区日吉）●きまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●横浜国際ホテル（西区南幸）●さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生協同組合大学館店・工学部店

月刊 リサイクルデザイン No.104

発行日：2003年4月25日

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人：秋元康男

〒220-0005

編集人：工藤健一

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

編集室：戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

制作：(企)エコ・アド

印刷：オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK（大豆インク）を使用しています。

